

地球環境時代の住まいを考える。

—省エネルギー基準の改正をきっかけとして—

3.11 の東日本大震災後の激変するエネルギー環境の中で、住宅の省エネルギー基準が改正されました。基準の柱が、これまでの断熱性に加えて、暖冷房・換気・給湯・照明に関する一次エネルギー使用量の判定へと大きくシフトしました。これからの住まいづくりや住まい方に、どのような影響が出てくるのでしょうか？省エネルギー基準の策定を主導され、「自立循環型住宅」研究の第一人者である建築研究所の澤地孝男先生より、「北海道の住まいとこれからのエネルギー利用のあり方」についてわかりやすくお話しいただきます。

澤地先生のお話を受けて、福島明（北海道立総合研究機構 建築研究本部 北方建築総合研究所・副所長）と斉藤雅也（札幌市立大学デザイン学部・准教授）がそれぞれの立場、専門領域の知見をもとに、ディスカッションを行います。

講師

澤地孝男氏 独立行政法人建築研究所
環境研究グループ長



1985年東京大学大学院博士課程修了、工学博士。1990年以降建築研究所及び国土技術政策総合研究所にて住宅及び非住宅建築物の省エネルギー計画及び性能評価法の開発に従事。自立循環型住宅への設計ガイドライン、省エネルギー基準の改正（2009年、2013年）、シックハウス対策基準の策定等に従事。

コメンテーター

福島明 北海道立総合研究機構
北方建築総合研究所 副所長

司会

斉藤雅也 札幌市立大学
デザイン学部 准教授

主催

札幌市立大学・北海道立総合研究機構

日時

2月20日[木]
13:30～15:00

会場

札幌市立大学サテライトキャンパス
札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45 12階

参加料

無料（定員50名）

対象者

市民のみなさま

お申し込み先／お問い合わせ先

札幌市立大学サテライトキャンパス

TEL：011-218-7500, FAX：011-218-7507

E-Mail：koza@acu-h.jp

※お名前（ご所属）、ご連絡先をお知らせ下さい。